

陳 情 文 書 表

受 理 番 号	陳 情 第 1 9 8 号	
件 名	栗ノ木バイパス沼垂道路の側道（生活道路）等について	
要 旨	<p>2022年7月から沼垂・長嶺・万代地域で町内会単位の第1回説明会が終了。国土交通省新潟国道事務所より2名の課長が出席され、今後、数年間であと4回ほど、関係者、設計、用地補償、工事の説明会を予定との資料が配付された。しかし、計画を策定する段階でない、白紙なのに、なぜか令和4年9月の本会議で、一般質問にて議員さんより沼垂道路に設置される側道（生活道路）について質問がありました。土木部長は、測量、設計に着手するよう働きかけていくと答弁。新潟国道事務所の課長や所有者は、何も聞いてない、案にもないと言う。今後、沿線住民の考えを確認しながら、合意形成の努力が重要と言う。市と国の線引きは、国は、予算計上、用地買収、設計、工事、市は、地域を調整し、市道や交差点の調整を行うと答弁。所有者や国、市は同じ船に乗って向かっていると思ったけれど、新潟市は別の船に乗って先に進みました。こっそりと側道（生活道路）を設置すると決めました。結果、反対者が拡大し、工事着手が数年遅れそうです。令和4年9月の本会議での質問答弁は、最大限、絶対尊重すべきもの。行政は強いオピニオンと影響力を持っています。新潟国道事務所や所有者も知らない詳細な情報を共有、保存し、関係者を操作。特効薬です。側道（生活道路）不要という所有者や自治会があるのに、検証対象外、ミスリード。栗ノ木道路と沼垂道路は全く別なのに、勘違いの答弁がいっぱい出ています。</p> <p style="text-align: right;">（裏面につづく）</p>	
付 託 年月日 委員会	令和4年12月5日	第1項 } 第2項 } 環境建設常任委員会
受 理	令和4年11月14日 第379号	

次に、ガソリン価格、電気・ガス料金、生活用品等が物価高騰の影響を受け、住民の負担を軽くするため、水道料金のうち、基本料金を6か月間全額免除と、下水道使用料を半額に減免してほしい。全ての給水契約者の一般家庭、事業者が対象で、官公庁を除く。住民の福祉の増進をお願いしたい。

よって、以下のことを求め陳情いたします。

記

- 1 沼垂道路の側道（生活道路）は絶対に設置すること。
- 2 水道料金は6か月間基本料金を免除し、下水道料金は半額に減免すること。